⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区　　分	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
⑴　現金及び預金	54,326	54,326	—
⑵　有価証券	43,700	43,700	—
⑶　医業未収金	151,546	151,546	—
⑷　買掛金	(35,981)	(35,981)	—
⑸　未払金	(58,840)	(58,840)	—
⑹　長期借入金	(414,681)	(432,643)	(17,962)
⑺　リース債務	(10,431)	(10,423)	(△8)

（注１）　負債に計上されているものは（　）で示しております。

（注２）　金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

⑴　現金及び預金、⑶　医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　有価証券

有価証券はすべて譲渡性預金であり、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

⑷　買掛金、⑸　未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

⑹　長期借入金、⑺　リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

Ⅲ．損益計算書

１．国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

①　その他診療業務収益	404,628,835円
②　研究収益	371,150,634円
③　研修収益	33,726,290円
合計	809,505,759円

２．受取利息の内訳

①　受取利息	12,253,973円
②　有価証券利息	37,668,280円
合計	49,922,253円

３．固定資産売却益の内訳

①　医療用器械備品	27,097,277円
②　その他器械備品	64,799円
③　車両	1,671,472円
合計	28,833,548円

４．固定資産売却損の内訳

医療用器械備品	2,399,574円

５．固定資産減損損失

⑴　減損損失の金額及び内訳　（単位：円）

用　途	場　所	減損損失		
		建　物	その他	計
遊休資産（外来棟等）	長野県松本市大字寿豊丘811　外22箇所	1,133,835,394	190,162,247	1,323,997,641

⑵　減損損失の認識に至った経緯

上記遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため減損損失を認識しました。

⑶　資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって政策医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定済みの資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

⑷　回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、主として不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により算定しております。

６．その他臨時利益の内訳

①　財政再計算による退職共済年金に係る整理資源負担金減少額	2,673,249,603円
②　賠償金等の受入	324,963,633円
③　その他	343,729,211円
合計	3,341,942,447円

７．その他臨時損失の内訳

①　工事関係費用（埋蔵文化財発掘費用、廃棄物処理費用等）	606,160,511円
②　その他	297,028,417円
合計	903,188,928円

Ⅳ．退職給付引当金

１．退職給付債務に関する事項

区　　分	平成27年３月31日現在
退職給付債務(A)	△　157,827,886,917円
未認識過去勤務債務(注)(B)	△　15,076,674,989円
未認識数理計算上の差異(C)	4,231,503,348円
整理資源負担金(D)	△　99,981,007,352円
退職給付引当金(E)＝(A)＋(B)＋(C)＋(D)	△　268,654,065,910円

(注)　平成18年８月１日から国家公務員退職手当法の一部を改正する法律（平成17年法律第115号）及び平成25年１月１日から国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律（平成24年法律第96号）の適用を受けたため、過去勤務債務が発生しております。